

「新防災教育副読本を活用した指導事例」

学校名 [立町小学校] 氏名 [授業者 田村 由香子] [小] 学校 [1・2・3] 年版 単元名 [ひなんのしかたを考えよう] P 34～35 教科・領域名 [学活] [時間 45 分]	
主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【ねらい】 学校以外の様々な場面でも、地震などの災害が発生したときにどのようにして身を守るのか、どのように避難するのか考えさせることで、災害時に安全に避難行動がとれるような意識を育てる。</p> <p>1 地震が起きたときに、安全に避難する方法を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地震はいつでもどこでも起きます。子どもだけでいる時に、まず自分の身を守るためにはどのように行動したらよいでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ドアをあける ・机の中に隠れる ・頭を守る ・ガラスのないところに逃げる ・建物のないところ、落ちてくるものがないところに逃げる ・ピアノに寄らない <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 次にゆれがおさまったら、どのように行動したら良いでしょうか。 </div> <p>3. 1 1 東日本大震災の時の写真資料を見る。</p> <p>①津波が来た後の石巻市の航空写真 ②津波が来たため高台への階段を昇る写真 ③天井が落ちた仙台駅のホーム) ④自校の震災時の写真 等</p> <p>2 架空の街を想定し、危険予知トレーニングをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> あなたは、この街に住んでいる人です。大きな地震が起きました。あなたは海岸の市場の近くにいました。揺れがおさまった後、次にどのように行動したら良いでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ◇仮想の地図をもとに、一人で避難経路を考える。 ◇グループの人と考えたことについて発表し合う。 ・わたしの考えと同じだ。 ・神社は山になっているから高い所でいいね。 ・海から早く離れた方がいいよね。 ・小学校で大丈夫かな。 	<p>【準備物】・パソコン ・大型テレビ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書画カメラ ・副読本 P34～35 の拡大図 ・ワークシート ・副読本 P34～35(児童)  <p>*副読本 P.30 のリード文を読む *これまでの経験から想起させる。 *意見が出にくい場合は副読本 P.30 を参考に読ませる。</p> <p>*地震の写真資料（可能なら自校）を用意する *気付かせたいポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低地は津波に襲われる ・高台への避難の必要性 ・建物などの崩壊の危険 <p>*安全な避難経路を考える資料をしたい。</p>   <p>お互いの考えた避難経路について話し合う *書画カメラでワークシートをテレビに映す</p>

◇グループ代表の考えを全体に発表し、全員でよりよい避難方法を考える。

- ・山の上の神社…津波が来る危険があるから、高い所の方が安全だから
- ・小学校…避難所になっているから。
- ・学校の屋上…高い所だから
屋上に行けない時には校庭にいる
- ・交番…大人の人がいるから。遠すぎると移動の時危ないから
- ・市民センター…ここだと津波が来ないと思うから人も多く入りそうだから

みんなの考えを聞いて、どんな避難の仕方が良いと思えましたか。

- ・高いところへ逃げる
- ・安全は道を通ってできるだけ早く逃げる
- ・避難した所が危険な時には次の避難場所も考える

この場合、避難する時に気を付けた方がよいことは何でしょうか

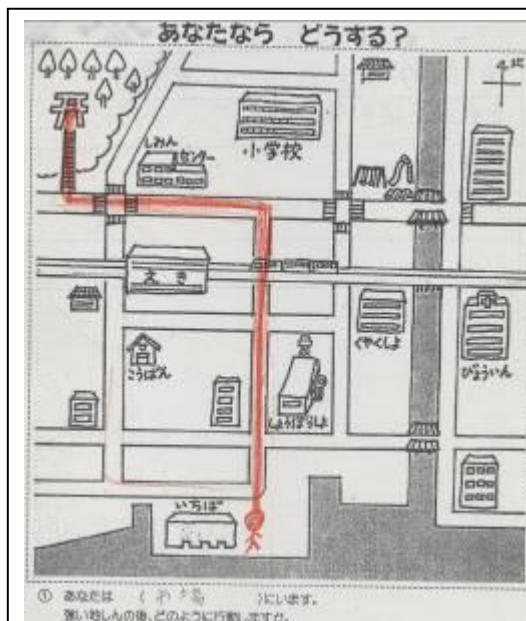
- ・海や川に近づかない
- ・がけ崩れがないか気を付ける

3 学習を振り返る

今日の学習を通して感じたことや思ったことをワークシートに書きましょう

わたしは今日の勉強で、危険予知トレーニングをする前から、絵を見てここに逃げようと決めていたので、速く決めることができました。地震の時は自分から身を守ることを覚えました。今日、お母さんやおばあちゃんに話そうと思います。

ぼくは、一人にいる時も地震が来ると分かりました。後、一人にいる時に地震が来たら、自分で行動しなくちゃいけない時もあるんだなあと思いました。



児童が考えた避難経路で多かった考え



安全な避難経路について全員で話し合う

地震はいつでも起きるので大変だなと思いました。後、避難する場所を考えた方がいいんだなと思いました。一人でも逃げられるようにしておこうと思います。

* 今回の指導過程では、危険予知トレーニング(KYT)は、地震についてのみしか実施できなかった。台風などの他の災害時についても実施すると良いと思う。他の学年でも、別の想定で実施してはどうかと考える。